

公表

事業所における自己評価総括表【放課後等デイサービス】

○事業所名	社会福祉法人 四恩会 チェンジA.		
○保護者評価実施期間	令和7年1月29日		令和7年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数) 19名
○従業者評価実施期間	令和7年1月29日		令和7年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○生活空間を活動部屋や課題の部屋・更衣室・静養室等に分け、子ども達に分かりやすいようにしている。また、室内をパーティションで区切り、プライバシー配慮や集中できる空間を設けている。	○子ども達の特性に合わせて、個室の活用や、小集団にグループを分ける等し、各部屋をその日の活動に合わせて工夫して使用している。	○子ども達、ひとりひとりに合わせてイラスト等を用いて、より視覚的にも分かりやすくすることで、子ども達も安心して過ごすことができると思われる。
2	○子ども達の思いを聞き、主体性を持って過ごす時間の楽しみを持つことができるように、定期的に子ども達と話し合っている。お楽しみ会やご飯作り等を一緒に企画する機会を設けている。	○子ども達ひとりひとりが意見が出せるよう、イラストや文字等を用い、安心できる環境で聞く等、個々の意見を反映できるように工夫している。 ○子ども達から出た意見を、自分達でまとめ、計画を立てている。当日は子ども達が主体となり活動を勧めることができるよう、計画・立案・実行の機会を設けている。	○子ども達の特性に合わせながら、子ども達全員が役割をもって、活動に参加できるよう、今後も工夫を行っていく。
3	○日々の活動や、個々の課題は、ひとりひとりに合ったものを検討し、提供している。	○日々の活動や、個々の課題は、ひとりひとりに合ったものを作成し、活動内容もより一層楽しむことができるように、職員が手作りで工夫し、提供している。	○活動内容も、子ども達の意見を取り入れ、楽しく参加できるものや、個別課題も今後も工夫していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○地域のスポーツ大会等に参加はしているが、地域の子ども達との交流する機会が少ない。	○事業所内だけでなく、地域の子ども達との交流の機会を増やす必要がある。	○地域の学童や交流センター等、他の子ども達と交流する機会を設ける。
2	○家族支援プログラムや、ご家族やきょうだい児を対象とした、研修の機会がない。	○ご家族やきょうだい児を対象とした研修や交流の機会を設ける必要がある。	○ご家族やきょうだい児の困りごと等を聴く機会を設け、家族支援につなげていく。
3	○地域住民との関わりが弱いため、地域の行事や交流を持つ機会を設ける必要がある。	○地域住民や地域のお店の方と顔見知りになることで、緊急時や災害時にも協力関係を気づき、子ども達も安心して暮らすことができると思われる。	○地域住民との関わりや、お買い物体験を通して、地域住民との交流を図る機会を設ける。 ○緊急時に連携を図ることができるよう、地域の災害時の訓練等に参加する機会を設ける。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 社会福祉法人 四恩会 チェンジA.

公表日 令和7年2月28日

利用
児童数

20名

回収数

19名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19				○物を返す場所が決まっているから分かりやすいと、子供から聞いています。ありがとうございます。	○空間をうまく活用し、子ども達が生活しやすい空間を心がけています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	18			1	○いつも親身に対応していただき、ありがとうございます。 ○保護者会での職員の声かけや行動を見ていると、職員の配置は、人数以上に人がいるように思えました。 ○年上の子が、年下の子みなさんに声をかけている姿に感銘を受けることが多かったです。	○職員配置は、子ども達の人数に応じて適切な人数を配置しています。 ○今後も、事業所での子ども達の様子を、ご家族に見て頂く機会を企画していきます。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18			1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19				○きれいでごちゃごちゃしていないから落ち着くと、子供が言っています。	○視覚的にも子ども達が分かりやすい環境作りを心がけています。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18			1	○H.Pの記載のあるものでしょうか？	○今年度より、H.Pにも掲載し、ご家族にも配布しています。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19				○持ち帰ってきた工作をいつも飾って大切にしています！	○今後も、子ども達が楽しく参加できる活動や製作を企画していきます。
11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	8	1		10		○地域の子供達との交流の機会を増やせるよう検討していきます。	
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	2		2	○なかなか参加できていません。	○ご家族が興味を持って参加していただける企画を今後、企画していきます。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	19					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	18			1	○土曜日に家に居たいとの希望があり、交流会になかなか参加出来ずみません。	○子どもと一緒に楽しく参加できるご家族参加の企画を今後も考えていきます。
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19						

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18			1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18				○現在、病気のため、自宅療養中です。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18	1			○行くのを嫌がる時もありますが、行ってしまえば楽しんでいるので安心しています。	○子ども達とご家族が安心して利用できるように、今後も職員一同あたたかい雰囲気作りを心がけていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	19					

公表

事業所における自己評価結果【放課後等デイサービス】

事業所名	社会福祉法人 四恩会 チェンジA.		公表日	令和7年2月28日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		○こども達の特性を生かせるように職員配置をしている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		○活動部屋・課題部屋・更衣室等、静養室等の生活空間を分け、視覚的に分かりやすくイラスト等のツールで示している。 ○情報伝達は、こども達に分かりやすくイラストと文字等を用い示している。	○構造化に関しては、こども達に合わせたツールを用い、より分かりやすい工夫をしていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		○活動部屋ではプライバシーに配慮し、パーティションで区切る工夫をしている。 ○活動に合わせて部屋の仕切りを取り、一つの広い部屋に使う等の工夫をしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		○毎日のミーティングで業務改善へと繋げるために意見を出し合う機会を設けている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		○アンケート結果を全職員に回覧周知し、会議の場やミーティングの場で話し合う場を設けている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		○法人内研修・内部研修・外部研修・伝達研修を定期的に行っている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		○個別支援計画報告会議を開き、全職員に周知伝達を行い、いつでも確認ができるようにファイリングをしている。 ○日々のミーティングで支援内容について、検討する機会を設けている。 ○個々にあった課題や活動内容を検討し、手作りの教材や活動を提供している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		○基本的な内容と日々の支援に関わる上で、必要な内容をより具体的にアセスメントをとることができるように工夫している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		○こども達から意見を聞き、日々の活動やお楽しみ会に盛り込み、一緒に活動を作り上げる機会を設けている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		○固定化しないように、毎月新しい活動内容を盛り込んだり、同じ活動でもルールを変えて楽しめるように工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		○個別や集団での課題に対しても、支援内容の取り組みや成果を記入し、支援内容や課題の振り返り、また次の課題の検討していく等・改善に努めている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し の必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		○年に2回、ご家族との面談の機会を設け、支援内容について話し合いを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ 合わせて支援を行っているか。	○		○4つの基本活動を、ひとりひとりに合わせて組み合わせた個別支援計画を立てて、支援を行っている。	
関係機関 や保護者 との連携	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定 をする力を育てるための支援を行っているか。	○		○活動については、子ども達から意見を聞く、子ども達同士で話合う、そして作り上げる楽しさを体験できるよう支援をしている。 ○子ども達がいつでも自分の思いを伝えることができるように、要望箱を設置している。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議 に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、 教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		○学校や園の様子を聞く等、日々の支援につながるよう連携を図っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻 の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切 に行っているか。	○		○学校送迎時に、行事や時間割変更等を確認する。急な変更時は連絡を頂けるように、学校に協力依頼をしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支 援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		○利用前に、通っている園での本人の様子を見させて頂き、支援が継続できるように情報共有をお願いしている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所 等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等して いるか。	○		○相談支援員が開く、移行支援会議への参加や、利用予定の事業所から連絡があった時に、支援内容や様子を伝えることをご家族に了承を得て、連携を図ることができるように体制を整えている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスー パーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		○子ども達への支援についての相談をしたり、市のこども部会で話し合う機会を設けている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動す る機会があるか。	○			○今後の課題として、地域の児童館との交流の機会を作る等、働きかけていく予定。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や 課題について共通理解を持っているか。	○			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログ ラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機 会や情報提供等を行っているか。	○	○	○日々、保護者からの相談に応じ、支援についての助言やツール等の提示をし、ご家庭との支援の共有をしている。	○職員の高の質の向上として、ペアレント研修を受講。
保護者 への	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を 行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意 思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こど もや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行 い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		○子ども達に本人が意欲を持ち自信につながる方向へと説明をして振り返りをして いる。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必 要な助言と支援を行っているか。	○			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等によ り、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、 きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		○お楽しみ会等のイベント時に、ご家族参加型の内容を企画し、他のご家族との交流の機会を設けている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するととも に、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に 対応しているか。	○		○苦情対応マニュアルやフローチャートを作成し周知している。	

説明等	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		○毎月の月間プログラムに活動内容やイベント・欠席時の連絡等を載せ、またイベント毎に詳しい内容をお知らせしている。 ○年に数回『ひだまり』を作成し、子ども達の日々の様子等を掲載、ご家族に配布や事業所内に掲示をしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		○契約時に、『個人情報保護同意書』と『プライバシー配慮同意書』を保護者に説明と同意のもと署名を頂いている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		○ご家族や子ども達に話をする時は、個々に応じてイラストや写真や文字を用いる等、相手に伝わりやすい方法を工夫している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		○今後、地域との関わりを増やし、地域の行事に参加していきたい。また、本事業所の行事に地域の方を招待する等、交流の機会を設けていきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		○内部研修時にマニュアルの見直しと実践訓練を行っている。 ○避難訓練は子ども達にも緊急時の対応を学ぶ機会を設け、実践練習を取り入れている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		○保護者に服薬やてんかん発作の状況を聞き、個々に対応マニュアルを作成し、保護者と情報共有している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		○医師の指示書に基づき、対応マニュアル（エピペン使用）を作成している。 ○地域の消防署に依頼し、エピペンの講習と、緊急時の対応の確認を行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		○緊急時対応マニュアルを作成し、ご家族に説明と配布を行い、緊急時の連携をお願いしている。 ○地域の消防からの依頼で、『緊急搬送時の依頼書』を作成し、保護者の説明と同意を得て、緊急時の協力をお願いしている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		○毎月の全体会議で、『虐待防止・身体拘束禁止委員会』を開催している。年に2回内部研修と、年に1回県の研修に参加し、内容を全職員に周知している。 ○職場セルフチェックシートを2ヶ月に1度実施し、虐待防止につながるよう、風通しの良い職場作りを心がけている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		○『虐待防止・身体拘束禁止マニュアル』や対応フローチャート等を整備している。 ○やむを得ず行う場合は、子どもと保護者に事前に詳しく説明し、了解を得た上で、個別支援計画に記載し、同意と署名を頂く成し、面談時に保護者に説明している。		

公表

事業所における自己評価総括表【児童発達支援】

○事業所名	社会福祉法人 四恩会 チェンジA.		
○保護者評価実施期間	令和7年1月29日		令和7年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1名	(回答者数) 1名
○従業者評価実施期間	令和7年1月29日		令和7年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	○生活空間を活動部屋や課題の部屋・更衣室・静養室等に分け、子ども達に分かりやすいようにしている。また、室内をパーティションで区切り、プライバシー配慮や集中できる空間を設けている。	○子ども達の特性に合わせて、個室の活用や、小集団にグループを分ける等し、各部屋をその日の活動に合わせて工夫して使用している。	○子ども達、ひとりひとりに合わせてイラスト等を用いて、より視覚的にも分かりやすくすることで、子ども達も安心して過ごすことができると思われる。
2	○こどもの特性を踏まえ、ひとりひとりの発達に合わせたツールや課題を提供している。	○ひとりひとりの発達と特性に合わせたツールや課題を、職員が手作りしている。	○ひとりひとりの成長に合わせて、ツールや課題を作成していく。
3	○園や関係機関と定期的に話し合う機会を設け、日々の支援内容や取組を共有している。	○利用時に、ご家族や園での取組を聞き、課題や遊び、排泄面等の取組の連携を図り、必要に応じて、個別支援計画等の見直しを行っている。	○こどもの発達や成長も日々変化するため、ご家族や園での情報交換をきめ細かくし、こどもの成長につなげていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	○地域の子ども達との交流の機会が少ない。	○事業所内だけでなく、地域の子ども達との交流の機会を増やす必要がある。	○地域の学童や交流センター等、他の子ども達と交流する機会を設ける。
2	○家族支援プログラムや、ご家族やきょうだい児を対象とした、研修の機会がない。	○ご家族やきょうだい児を対象とした研修や交流の機会を設ける必要がある。	○ご家族やきょうだい児の困りごと等を聴く機会を設け、家族支援につなげていく。
3	○地域住民との関わりが弱いため、地域の行事や交流を持つ機会を設ける必要がある。	○地域住民や地域のお店の方と顔見知りになることで、緊急時や災害時にも協力関係を気づき、子ども達も安心して過ごすことができると思われる。	○地域住民との関わりや、お買い物体験を通して、地域住民との交流を図る機会を設ける。 ○緊急時に連携を図ることができるよう、地域の災害時の訓練等に参加する機会を設ける。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	社会福祉法人 四恩会 チェンジA.		公表日		令和7年 2月 28日		利用児童数	1名	回収数	1
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応				
環境・ 体制整備	1	1								
	2	1								
	3	1								
	4	1								
適切な 支援の 提供	5	1								
	6		1							
	7	1								
	8	1								
	9	1								
	10				1					
	11				1					
保護者 への 説明等	12	1								
	13	1								
	14				1	ご家族が興味を持っていただける企画を、今後考えていきます。				
	15	1								
	16				1					
	17	1								
	18		1							
	19				1	要望・ご意見箱を玄関に設置していません。相談やご意見があった場合は、迅速な対応をとらせていただきます。				
	20	1								
	21		1							
22	1									
23	1									

非常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1				
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1				
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	1				
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	1				
	29	事業所の支援に満足していますか。	1				

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	社会福祉法人 四恩会 チェンジA.		公表日		令和7年2月28日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		○こども達の特性を生かせるように職員配置をしている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		○活動部屋・課題部屋・更衣室等、静養室等の生活空間を分け、視覚的に分かりやすいように、イラスト等のツールで示している。 ○情報伝達等は、こども達に分かりやすくイラストと文字等を用い示している。	○構造化に関しては、こども達に合わせたツールを用い、より分かりやすい工夫をしていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		○活動部屋ではプライバシーに配慮し、パーティションで区切る工夫をしている。 ○活動に合わせて部屋の仕切りを取り、一つの広い部屋に使う等の工夫をしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		○毎日のミーティングで業務改善へと繋げるために意見を出し合う機会を設けている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		○法人内研修・内部研修・外部研修・伝達研修を定期的に行っている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		○個別支援計画報告会議を開き、全職員に周知伝達を行い、いつでも確認ができるようにファイリングをしている。 ○日々のミーティングで支援内容について、検討する機会を設けている。 ○個々にあった課題や活動内容を検討し、手作りの教材や活動を提供している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		○基本的な内容と日々の支援に関わる上で、必要な内容をより具体的にアセスメントをとることができるように工夫している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		○こども達から意見を聞き、日々の活動やお楽しみ会に盛り込み、一緒に活動を作り上げる機会を設けている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		○固定化しないように、毎月新しい活動内容を盛り込んだり、同じ活動でもルールを変えて楽しめるように工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		○個別や集団での課題に対して、支援内容の取り組みや成果を記入し、支援内容や課題の振り返り、また次の課題の検討していく等・改善に努めている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		○年に2回、ご家族との面談の機会を設け、支援内容について話し合う機会を設けている。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		○児童発達支援管理責任者と現場の職員が参加している。	
関係機関や保護者との連携	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		○定期的にサービス担当者会議やこども部会に参加し、市の担当職員・指導保育士・教育センター等の関係機関と連携できる体制を整えている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		○通っている園でのご本人の様子を見させて頂き、支援が継続できるように情報共有をお願いしている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		○こども達への支援についての相談をしたり、市のこども部会で話し合う機会を設けている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○			○今後の課題として、地域の児童館との交流の機会を作る等、働きかけていく予定。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		○日々の利用の際に、その日の様子や活動内容を伝え、保護者からは自宅の様子や要望を聞く等し連携を図っている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	○日々、保護者からの相談に応じ、支援についての助言やツール等の提示をし、ご家庭との支援の共有をしている。	○職員の質の向上として、ペアレント研修を受講。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		○お楽しみ会等のイベント時に、ご家族参加型の内容を企画し、他のご家族との交流の機会を設けている。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		○要望・ご意見箱を玄関に設置し、ご家族に周知している。 ○相談やご意見にあった場合は、すぐに対応できるように対応フローチャートを作成している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		○毎月の月間プログラムに活動内容やイベント・欠席時の連絡等を載せ、またイベント毎に詳しい内容をお知らせしている。 ○年に数回『ひだまり』を作成し、こども達の日々の様子等を掲載、ご家族に配布や事業所内に掲示している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		○契約時に、『個人情報保護同意書』と『プライバシー配慮同意書』を保護者に説明と同意のもと署名を頂いている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		○ご家族やこども達に話をする時は、個々に応じてイラストや写真や文字を用いる等、相手に伝わりやすい方法を工夫している。	

	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		○今後、地域との関わりを増やし、地域の行事に参加していきたい。また、本事業所の行事に地域の方を招待する等、交流の機会を設けていきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○	○内部研修時にマニュアルの見直しと実践訓練を行っている。 ○避難訓練は子ども達にも緊急時の対応を学ぶ機会を設け、実践練習を取り入れている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		○		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。		○	○保護者に服薬やてんかん発作の状況を聞き、個々に対応マニュアルを作成し、保護者と情報共有している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	○医師の指示書に基づき、対応マニュアル（エピペン使用）を作成している。 ○地域の消防署に依頼し、エピペンの講習と、緊急時の対応の確認を行っている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○	○緊急時対応マニュアルを作成し、ご家族に説明と配布を行い、緊急時の連携をお願いしている。 ○地域の消防からの依頼で、『緊急搬送時の依頼書』を作成し、保護者の説明と同意を得て、緊急時の協力をお願いしている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		○		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		○	○毎月の全体会議で、『虐待防止・身体拘束禁止委員会』を開催している。年に2回内部研修と、年に1回県の研修に参加し、内容を全職員に周知している。 ○職場セルフチェックシートを2ヶ月に1度実施し、虐待防止につながるよう、風通しの良い職場作りを心がけている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		○	○『虐待防止・身体拘束禁止マニュアル』や対応フローチャート等を整備している。 ○やむを得ず行う場合は、子どもと保護者に事前に詳しく説明し、了解を得た上で、個別支援計画に記載し、同意と署名を頂く成し、面談時に保護者に説明している。	